

腫瘍マーカー検査のご案内について

がんが発生すると、健康な時には見られない特殊なタンパク質や酵素、ホルモンが増加することがあります。これらが血液や尿中にどのくらい含まれているかを確認し、X線検査や超音波検査、血液・尿・便潜血検査などと組み合わせて、がんの可能性を総合的に判定する検査です。検査の値が高いからといって必ずしもがんとは限りません。たとえば前立腺がんの診断に用いられるPSAは、中高年に多い前立腺炎や前立腺肥大でも数値が上昇することもあります。

また、腫瘍マーカーのみではがんの早期発見が難しいとされています。画像診断検査などと併せて検査を行うことをお勧めいたします。

なお、異常が確認された方は、かかりつけ医や専門医にご相談ください。

各腫瘍マーカーと対象となる臓器

腫瘍マーカー検査についてご確認いただき、単項目または男性・女性向けのセット検査をお選びください。

		甲 状 腺	肺	胃	食 道	大 腸	膵 臓	肝 臓	胆 道	前 立 腺	乳	卵 巣	そ の 他	料金 (税込)
CEA	大腸がんなどの消化器のがんをはじめ、肺・卵巣・乳がんなどで高値になります。喫煙や炎症性疾患、肝硬変、糖尿病で高値になることもあります。	●	●			●	●	●	●		●	●		1,122 円
CA19-9	膵臓がんをはじめ、胆道、胃、大腸のがんなど、主に消化器のがんで高値になります。胆石、胆のう・胆管炎、子宮内膜症、卵巣のう腫、慢性膵炎、糖尿病で高値になることもあります。			●		●	●	●	●			●		1,397 円
PSA	前立腺に特異性の高い腫瘍マーカーで、がんの発見や経過観察に重要な役割を果たしています。前立腺炎や前立腺肥大で上昇することもあります。									●				1,397 円
シフラ	肺がんのうち扁平上皮がん、腺がん、大細胞がんなどの非小細胞がんでは陽性率が高くなり、卵巣がんや乳がんでも陽性を示します。		●										●	1,782 円
AFP	臓器特異性の高い腫瘍マーカーで、肝がん、卵巣や精巣の胚細胞がんなどで高値になります。慢性肝炎や肝硬変、妊娠などでも値が上昇します。							●				●	●	1,144 円
抗p53抗体	がんを抑制している遺伝子の変異に対して、体内で作られる抗体の量を測定します。食道・大腸がんをはじめ乳がんや子宮がんでも陽性を示します。				●	●					●			1,793 円
CA125	卵巣がんなどで高値になりやすく、子宮体がんやその他の消化器のがんなどで高値になることがあります。子宮内膜症、月経、妊娠、肝硬変、膵炎などでも上昇します。											●	●	1,584 円
■ 男性向け4項目セット検査		CEA・CA19-9・ <u>PSA</u> ・シフラ											5,698 円	
■ 男性向け5項目セット検査		CEA・CA19-9・ <u>PSA</u> ・シフラ・AFP											6,842 円	
■ 女性向け4項目セット検査		CEA・CA19-9・ <u>CA125</u> ・シフラ											5,885 円	
■ 女性向け5項目セット検査		CEA・CA19-9・ <u>CA125</u> ・シフラ・AFP											7,029 円	